

No. 5	平成 29 年度 「地域子育て活動支援事業」 実施の内容
団 体 名	北上機械鉄工業協同組合
事 業 名	地元と育む共同ネットワーク 中級編
実 施 期 間	平成 29 年 4 月～平成 30 年 2 月
事 業 実 績	共同ネットワーク構築 2 年目として 1)～5) の事業を立て続けに連携して行った。 1 年目を初級とするならば、2 年目は事業の内容（鑑賞型から参加型へ）・参加目標等 1 ランクアップさせ、中級編として実施した。 1) たまごの学校を体験しよう。(ものづくり) 内容：エッグクラフトの講師にお出でいただき、普段食べるだけの卵について、殻を別の物に作り替える創意工夫の大切さ、殻を壊さないのと同様に、人の気持ちも壊さないようにする事の大切さを教室を通して説いていただいた。 時期：平成 29 年 7 月 15 日 場所：ハートパルきたかみ（体育室） 対象：黒沢尻北地区の小学生と親御さん（参加 31 名） 講師：えっぐ工房「殻」 菊地克三氏及び奥様（宮城県名取市） 推進：黒沢尻北小学校と連携し、広報他諸準備の協力を得た。 2) みんなで楽しむコーラスの世界 内容：県内最高レベルの黒沢尻北小音楽部及び県内の歌手にお出でいただき、日本や世界の曲を演奏していただき、地元の住民の方に鑑賞していただいた。 最後には出演者の共演・会場全体での演奏等を行った。 時期：平成 29 年 11 月 18 日 場所：ハートパルきたかみ（体育室） 対象：黒沢尻北地区の小学生・中学生と親御さん（参加 193 名） 講師：黒沢尻北小音楽部指揮者・太田代政男先生（テノール） 推進：黒沢尻一区と合同で広報他諸準備・当日の進行等を分担した。 3) 古民家の体験をしよう。(古民家観察とそば打ち体験・レクリエーションの組み合わせ) 内容：県内の適切な古民家を選び、その観察とそば打ち等の体験学習、昔ながらの遊びを行い、日本の伝統文化の素晴らしさを学習した。 時期：平成 29 年 9 月 23 日 場所：遠野市伝承園・ふるさと村、花巻市文化村 対象：黒沢尻北地区の小学生中学生と親御さん（参加 15 名） 講師：①北上市内 佐々木幸一（昔の農村生活の説明・遊びの指導） ②花巻市文化村の職員（そば打ち指導・古民家の説明） 推進：黒沢尻一区と合同で広報他諸準備・当日の進行等を分担した。 4) 手作りで迎えるクリスマスとお正月（ものづくり体験） 内容：クリスマスやお正月にちなんだものづくり体験をそれぞれ 1 回ずつ計 2 回行った。 時期：平成 29 年 12 月 17 日 場所：ハートパルきたかみ（会議室・和室） 対象：黒沢尻北地区の幼児・小学生・中学生・親御さん（参加合計 52 名） 講師：久慈慎也 タイルアート（お正月） 小河原ゆかり スティック（クリスマス） 推進：黒沢尻一区と合同で広報他諸準備・当日の進行等を分担した。

	5) 新年もちつき大会 内容：伝統的なきねとうすによるこしのある美味しい餅つき大会を行う。これに合わせて全国トップレベルの北上翔南高校鬼剣舞部と、ときわだい保育園園児による踊りも行う。 時期：平成30年1月13日 場所：ハートパルきたかみ（体育室） 対象：黒沢尻北地区の幼児・小学生・中学生・親御さん（参加150名） 講師：（株）展勝地従業員・北上翔南高校鬼剣舞部員 推進：黒沢尻一区と合同で広報他諸準備・当日の進行等を分担した。 その他：参加促進のため、開会時に餅まき・中盤で座布団取りゲーム・最後にビンゴゲームを実行した。 （計画との相違理由） 1）～3）まで講師や施設の状況で実行日が計画とずれ込んだ。 3）で予定より当初の参加申し込みが大幅に少なかったため、1区と相談の上参加費を無料にして対応せざるをえませんでした。従いまして、収支報告では、この分の会費収入が0となり計画との相違が生じてしまいました。
実施効果 自己評価	①共同して運営することで組織間の連帯が強化された。 ②組織間のノウハウの長所が互いに取り入れられ、従来の事業の繰り返し感が薄まり、斬新な事業が出始めた。一方で3）のように子どもの参加が少ない事業も有り事業のメニュー選定に課題を残した。 ③鑑賞型（受身型）の行事から参加型行事への転換が促進された。特に2）は動員数でも予定の約2倍、会場からのアンコール等大成功をおさめた。5）は子どもが好むゲームを取り入れて例年の1.5倍の来場者（子どもの参加割合が増えた）となった。 事業によって、参加人数の計画に対しての達成度がばらついています。新しい事業を試みているのでやむを得ない面もありますが、メニュー選定はもう少し慎重であるべきだった。但し、例年行っている事業でもちょっとしたゲーム等を加えると参加者がぐんと増える事が分かった。全体で75点と考えます。